

ザ・ウォールⅡ設計条件

荷 重

- **荷重(外力)の組合せ**……………下記の3タイプの組合せについて検討する。

常 時 (長期) [(自重)+(主働土圧)+(表面載荷)]

フェンス荷重 (短期) [(自重)+(主働土圧)+(表面載荷)+(フェンス荷重)]

地 震 時 (短期) [(自重)+(主働土圧)+(表面載荷)+(擁壁・裏込土水平慣性力)]

* 滑動抵抗力として受働土圧を考慮する。

- **自重**……………擁壁と底版上の裏込土重量を見込む。

- 鉄筋コンクリート重量 $\gamma_c = 2.4\text{tf/m}^3$

- 土の単位体積重量 $\gamma = 1.8\text{tf/m}^3$

- **土圧**……………Coulomb(クローン)土圧公式による。

- **表面載荷**

- 等分布荷量 $q = 1.0(\text{tf/m}^2)$

- **フェンス荷重**

擁壁天端より、 H_f の位置に P_f の荷重が作用するものとする。

$$H_f = 1.1\text{m}$$

$$P_f = 0.10\text{tf/m}$$

短期荷重として、常時に加える。

- 地震時 設計震度 $K_h = 0.2$ $K_v = 0$ ……………標準震度

- **基礎地盤と擁壁底面との摩擦係数**

$$\mu = \tan \phi$$

ただし、 $\mu > 0.6$ の場合 $\mu = 0.6$ とする。

- **土質試験により、実況を確認しない場合には、宅地造成等規制施行令の別表第2及第3により次の通りとする。**

- 土圧係数 $K_A = 0.35$

- 土の単位重量 $\gamma = 1.8\text{tf/m}^3$

- 摩擦係数 $\mu = 0.5$

- 表面載荷 $q = 1.0\text{tf/m}^2$